

## ま え が き

近年におけるわが国鉄鋼生産の伸展は誠に目覚ましいものがあり、生産量は昭和19年の550万tより昭和35年度は実に2000万tを上回る見透しで世界の鉄鋼生産国の第5位にランクされるまでになつております。

その陰には昭和23年、通商産業省、日本鉄鋼協会ならびに日本鉄鋼連盟の強力な援助の下に鉄鋼技術共同研究会が発足し鋼材部会はその一部門として分科会を組織し今日まで活動して参りましたが、各分科会の研究努力が日本鉄鋼業界の技術の発展に寄与した偉大な功績を見のがすことが出来ません。

現在、鋼材部会には圧延理論、分塊、中小形、線材、厚板、帯鋼、薄板、鋼管の8分科会があり数多くの鉄鋼会社の協力とその推薦による委員の努力により今日に至る長期間研究討議が続けられて参りました。この度中小形分科会において中小形々鋼の生産技術の研究にこれまで見られない完全にして貴重な参考資料を編集し出版することになりましたが、本編の内容は、今日および将来の鉄鋼技術の向上のためにも、まことに有意義な報告書と申さねばなりません。

終りに本編を編集出版するに当りまして、中小形分科会各委員ならびに多大なる協力を下さいました関係各社の御厚意に深く感謝の意を表する次第であります。

昭和 36 年 6 月 23 日

鉄 鋼 技 術 共 同 研 究 会

鋼 材 部 会 長 平 世 将 一